

五分館だより

第56号

豊丘村公民館
第五分館
編集／社会部
印刷／燦プランニング
(堀本明一)

堀越の今日

平成19年4月現在
戸数 87戸
人口 357人
(男168 女189)

堀越区十九年度の取り組み

区長 武田 務

堀越区が発足して今年で百年になります。大きな節目の年を迎えました。

明治四十一年(千九百八年)堀越部として発足いたしました。名前こそ部でありましたが、今の区とほとんど同じ組織でスタートいたしました。この山間僻地の地域は自分達の力で良くしていかなければとの強い意思の表れであると思います。

黒谷線の開削に当たっては自分達で用地を買い上げて村に協力し開削しました。自強団という中堅の人達の纏まりで天神公園を自達の手で造りました。この公園は大正十三年から昭和二年まで四年の歳月をかけ人海戦術をもってグラウンドを造りスポーツの振興を進めて来ました。

昭和二十二年頃から自分達の手で道路の拡幅改良を行うことを決め、区民総出で一日十人以上賦役にて出勤人力で工事を進め、区内全路線が完成するまでには十数年の歳月がかかりましたが、各戸に車が入れるよ

うになったのは山間部の中では一番早かったと記憶しております。こんなことから道路愛護の県知事表彰をいただいております。先人達のこうした努力で現在のすばらしい堀越があるわけであります。

その意味でこの百年の節目を記念行事を行うことにより大切に胸に刻んで行きたいと思っております。案としては、記念式典、納涼祭と花火大会と一連の大イベントを考えております。区民の皆様には花火の寄付等もお願いすることにもなるかと思っております。よろしくお願いします。

松茸観光事業も今年は三十五年目を迎えます。先人達が始められたこのすばらしい地域おこしの事業も残念ながらこのところの温暖化という異常気象の中で松茸の発生が不安定になり継続が心配される状況にありますが、松茸が確保できる限り是非続けていきたいと考えております。

マレットゴルフ場については研究を進めてきました

がコミュニティ事業で造ることとし今年はその申請を行います。この事業が採択されないときませんが、マレットゴルフ場を造ることによって、もつとすばらしい公園にして行きたいと思うものであります。

区委員の研修視察

総務委員長 田島 康 嘉

二月十八、十九日に東海、遠州方面にて区委員の研修視察を行いました。

まず、名古屋港防災センターへ行き、四、五名づつ過去の大地震の再現を体験しました。そこでは地震が来たと感じたら机の足につかまり体の保護をしましょう。震度七のときはとても大変で、体が飛んでいく感じがしました。地震がおさまったらガスの元栓、電気のスイッチを切り、外に出るといふ体験をし、適切な初期行動の困難さの体験学習ができました。

現区民会館は耐震診断の結果、大きな地震には耐えられないとされており、耐震補強は簡単にはできませんので、早い時期に建て替えを考えなければなりません。その準備として現在ある積み立て金より、建設資金として《四千万円》を積み立て、万一に備えると共に建て替えも本気で考えなければと思います。



以上今年度の大きな事業として取り組みます。区民皆様の絶大なご支援ご協力のほど衷心よりお願い申し上げます。

次に航空自衛隊浜松広報館で戦闘機や装備品の展示を見学し、宿泊先の館山寺温泉で初日の反省会を行いました。

二月十八、十九日に東海、遠州方面にて区委員の研修視察を行いました。まず、名古屋港防災センターへ行き、四、五名づつ過去の大地震の再現を体験しました。そこでは地震が来たと感じたら机の足につかまり体の保護をしましょう。震度七のときはとても大変で、体が飛んでいく感じがしました。地震がおさまったらガスの元栓、電気のスイッチを切り、外に出るといふ体験をし、適切な初期行動の困難さの体験学習ができました。

二日目は袋井市に今から千三百年の昔に開かれた秋葉総本殿、可睡斎へ行きました。ここは「遠州秋葉まいる」において有縁無縁の秋葉様のご信者の民様が、秋葉三尺坊大権現御真前にお参りされて火防、火の用心の霊験あらたかな所でご利益を受け、幸せな暮らしをしていただきたいとの説明を聞いてから修行僧の案内で本殿、座禅堂を拝観、瑞龍閣の室内ぼたん園では修行僧が管理したぼたんを見ました。四月中旬より五千株余りのぼたんが咲き誇るそうです。

黒谷箋

今年も四ヶ月が過ぎようとしています。梅は満開、桜の開花予想が話題になり、平年より気温が高く変な冬だなと思います。積雪が少なく農作物への水不足、飲料水への影響もあるのではないかと心配しています。寒くなれば害虫も死なないし、りんごの開花頃の遅霜がなければよいと思う。環境が変わってしまったのか昔より野鳥も多くなり山に住んでいた動物も里に来て農作物を荒らし、木を痛めている。昔からのまきストーブの生活から、いかに楽をして便利で快適な生活をしようかと考え、いろいろな工夫をし、外国から燃料を輸入して、スイッチを入れればお湯が沸き部屋を暖め、一人一台の割りで車がある生活をするようになったが、気温が上がり北極の水が解けるような地球温暖化という思わぬことが起こり始め、自然に悪影響をもたらして始めている。

私たちは今の生活水準を下げることはできないし、今の生活を簡単に変えることができませんが、自然を大切に環境を守り、これ以上自然が変わることのないように一人一人が努力していかなくてはいけないと思います。時に出来る事はキチンと守り生活をしていかなければと感じています。

田島かおる

※ニュースポーツ「フラバールバレー」は球技大会の折紹介いたします。